

イタリアの名門、ヴェルディ2作品を初演したゆかりの劇場!

トリエステ・ヴェルディ歌劇場

FONDAZIONE TEATRO LIRICO GIUSEPPE VERDI DI TRIESTE

全3幕

(原語上演・日本語字幕付き)

演奏: トリエステ・ヴェルディ歌劇場管弦楽団/合唱団

G.ヴェルディ

「椿姫」

G.VERDI "LA TRAVIATA"

【指揮】

ジャンルカ・マルティネンギ

【演出】

ジュリオ・チャバッティ



【アルフレード】
ブラゴイ・ナコスキ



【ヴィオレッタ】
アドリアーナ・イオツツィア



【ジェルモン】
イタロ・プロフェリーシェ

2019年
11月6日(水) 新潟県民会館 大ホール 18:30開演(18:00開場)

入場料[全席指定・税込]

S席 18,000円 A席 14,000円
B席 9,000円 C席 6,000円

※未就学児入場不可。保育ルームを設置しますので、公演の2週間前までに新潟県民会館へお申し込みください(生後6ヶ月~未就学児対象:有料200円)

※車椅子席は新潟県民会館のみ取り扱いとなります。

チケット発売日 N-PACmate(友の会)会員発売6月12日(水)11:00~
一般発売6月14日(金)10:00~(りゅーとびあ11:00~)

《チケットお取り扱い》

- 新潟県民会館 025-228-4481(発売日10:00~)
- 新潟伊勢丹
- セブン-イレブン(セブンチケット)
- りゅーとびあ(窓口・電話・オンライン) チケット専用ダイヤル 025-224-5521(11:00~19:00休館日を除く)
オンラインチケット <http://www.ryutopia.or.jp/>
- インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F) ※NIC新潟日報販売店でも取り扱いがあります。
- 楽天チケット 050-5434-7343(平日10:00~17:00) <http://r-t.jp/classics>(座席選択可、さらに楽天スーパーポイントがたまる! 使える!)



楽天チケットQRコード

[主催] UX新潟テレビ21 / (公財)新潟市芸術文化振興財団 / コンサート・ドアーズ
[お問合せ] UX新潟テレビ21 025-222-1117(平日9:30~17:00) / 新潟県民会館 025-228-4481

[共催] 新潟日報社

G.ヴェルディ「椿姫」

指揮 ジャンルカ・マルティネンギ / 演出 ジュリオ・チャバットイ

全3幕

原語上演・日本語字幕付き



最高の歌手を得て、すべてを備えたオペラのすべてが引き出される!

《椿姫》にはすべてがある。私たちが人生を通じて味わう喜びも、苦悩も、救いもすべてが詰まっています。終幕まで観る人の心を揺さぶり続けるのだ。イタリアでは「《椿姫》は豚だ」といわれる。肉から内臓や耳まですべてが美味しく食べられ、残すところがないという意味である。

へと向かう彼女の心の履歴が、名旋律を通じて聴き手の胸に生々しく届けられるのだ。華麗なコロラトゥーラで表された恋の芽生えには、胸のときめきを、恋人の父に強いられて自己犠牲を決める二重唱の心の移ろいには、涙を強いられ、死を前にしての心の叫びに、ますます涙を誘われる。ほかにアルフレードや父ジェルモンのアリアなど、なにかもか味わい深い。



ヒロインのヴィオレッタはパリの高級娼婦で、彼女に恋い焦がれるアルフレードへの真実の愛に目覚める。だが「汚れて」いるがためにブルジョワ社会から拒まれた挙句、結核で若い命を落とす。こうして悲劇

だが、《椿姫》の凝縮された魅力を引き出すには、華麗な表現から劇的な心の叫びまで、ヴィオレッタの人生そのものを歌い演じられる卓越したソプラノが欠かせない。その一人として近年、イタリア各地の歌劇場で名を馳せているのがアドリアーナ・イオツツィアだ。コントロールが行き届いたドラマティックな美声に美貌も相まって、聴き手はヴィオレッタの人生に強く共鳴させられる。洗練された美声のブラゴイ・ナコスキのアルフレード、情熱的なイタロ・プロフェリーシェのジェルモンが加わって、極上の《椿姫》が約束されている。

イタリアとウィーン、それぞれの強みを併せ持つ名門歌劇場



イタリア東端の同境の港町、トリエステ。イタリアに併合されたのは1918年で、長くハプスブルク家の支配下にあったが、その間もこの町の人たちは、自らがイタリア人であると強く認識してきた。この歴史的な二重性は、こと文化の上ではトリエステの大きな強みになっている。オペラ発祥の地であるイタリアの伝統と誇りを保

ちながら、音楽の都ウィーンの養分も吸い続けてきたからである。

その象徴がヴェルディ歌劇場だ。落成したのは1801年、ミラノのスカラ座によく似た正面と世界有数の華やかな内装を誇るが、それも当然で、スカラ座を生んだ建築家ピエール・マリニが設計に携わり、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場の設計者だったセルヴァが内装を手がけた。もちろんヴェルディと縁が深い。《イル・コルサーロ(海賊)》と《ステイツ・フェーリオ》の2作が初演され、ヴェルディの死後、歌劇場は巨匠の名を冠することを許されている。その後、ジョーリ、デル・モナコ、カラス、テバルディ……と、綺羅星のごとき歌手たちが名演を繰り広げてきた。もちろんその伝統は、そのままに受け継がれている。



ジャンルカ・マルティネンギ(指揮)

音楽の緻密な構成とドラマティックな味つけに長けた、イタリアの指揮界の俊英。マルティネンギが指揮するヴェルディやプッチーニのオペラには、いつもイタリアの風が吹く。オーケストラからも歌手からも信頼も厚い。

キャスト



【ヴィオレッタ】アドリアーナ・イオツツィア

ベリーニ国際音楽コンクールなど、数多くの国際コンクールで優勝。2011年フランスのオペラ・フェスティバルにて《魔笛》パミーナでデビューを飾る。《ランメルモールのルチア》や《リゴレット》ジルダ、《トゥーランドット》リユー、《セヴィリアの理髪師》ロジーナ等を演じ好評を博す。近年ヴィオレッタを演じる機会も多く、イタリア国内でも今後が注目されている。



【アルフレード】ブラゴイ・ナコスキ

マケドニア・スコピエ音楽家の家系に生まれ、のちにイタリアへ渡りローマとフィレンツェで学ぶ。2003年ローマ歌劇場でダニエル・オーレン指揮《ランメルモールのルチア》アルトゥーロでオペラデビュー。現在ではミラノ・スカラ座やフィレンツェ歌劇場など、イタリアの主要劇場で歌いながら国際的な活動を広げている。



【ジェルモン】イタロ・プロフェリーシェ

2012年のデビュー以来、ズービン・メータやネッロ・サンティなどの世界的指揮者と共演。《ラ・ボエーム》マルチェット、《フィガロの結婚》フィガロ、《蝶々夫人》シャープレスなどを世界各地で歌い、称賛を得ている。フィレンツェ・新オペラ劇場のメータ指揮のこけら落としオペラ・ガラ公演にも《オテロ》モンターノ役で出演。

※キャストの一部が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

作品・劇場紹介 オペラ評論家 香原斗志
舞台写真: c fabio parenzan

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。

- ①やむを得ない事情で出演者が変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。
- ②お申し込み後のチケットのキャンセル・変更はできません。
- ③開演時間に遅れた場合、休憩までご入場をお待ちいただくか、指定場所でお待ちいただく事となります。余裕を持ってご来場ください。
- ④場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
- ⑤未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ⑥ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。